

The Lions News

DISTRICT 330-A LIONS CLUBS INTERNATIONAL

<http://www.lions330-a.org/>



2012 New Year

もっと友愛を!
We Serve!



K. Komori



新年を迎えて

ライオンズクラブ国際協会330-A地区ガバナー 大石 誠

新年明けましておめでとうございます。

皆様とこうしてめでたく新しい年を迎えられましたこと、まことに慶賀にたえません。

「もっと友愛を! もっと奉仕を!」をガバナーズ・テーマに昨年7月にスタートした今期もはや半年がたち、今、折り返しの時を迎えようとしております。

前半の9月には、15回にわたるガバナー公式訪問を有意義かつ実りあるものとして終わらせることができました。これもひとえにリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長様の一方ならぬご尽力のたまものと深く感謝を申し上げる次第です。また10月16日には日比谷公会堂にて330-A地区主催の「ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止大会」を大盛況、大成功のうちに終えることができました。ここでは「ライオンズの底力」を目の当たりにする思いがし、今思い返しても感激と感動を覚えます。本大会の開催に並々ならぬお力添えをいただきました関係各位にあらためて感謝の意を表する次第です。そして11月12日には東京都主催の「海の森プロ

ジェクト」秋の植樹にはメンバーに多数かけつけていただきました。さらには、東日本大震災支援活動、台風12号災害支援活動など多彩な活動を展開し、まさに「もっと友愛を! もっと奉仕を!」のテーマにふさわしい半年であったと思います。

さて、1月から後半を迎えるわけですが、もっとも大きなイベントは、4月21日(土)、東京プリンスホテルで開催される「第58回 年次大会」です。これは本年一年間の集大成ともいうべきもので、「伝統と前進」がテーマとなっており、成功に向けて、目下その準備が着々と進められておりますので、是非ご期待いただきたいと思います。

最後にお願ひです。今期は当初より事あるごとに会員増強を訴えさせていただいております。担当委員会の会員増強委員会でも会員増強にあたってさまざまな施策を打ち出しております。「奉仕人口の拡大、すなわち会員増強こそ、最大のアクティビティ」と言われております。各クラブ会長におかれましては今期後半さらに会員増強にお力を注ぎいただき、クラブ活力の強化をお願いする次第です。

本年の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

国際理事会報告…山浦 晟暉(国際理事)

秋の国際理事会及びLCIF執行委員会は10月3日～9日まで、タム国際会長の本拠地・香港の、東洋と西洋が融合した美しい町並みとビクトリア・ハーバーの眺めが素晴らしいホテルで開かれました。日本からは高田順一理事、秦従道理事、山田實紘アポインティー、私山浦の4人が出席しました。主な審議・決議事項は次の通りです。

【LCIF執行委員会】

- ・ 今期の献金額は9月末現在で600万ドル、前年比171%
- ・ 東日本大震災被災地支援の大規模プロジェクトについて、国際会長とLCIF理事長に承認の権限を与える案を承認
- ・ 東日本大震災支援に世界中から寄せられた献金は2千万ドル
- ・ 大災害援助金による事業は原則として3年間以内で終了することを決定

- ・ ライオンズ・スペシャルオリンピックス・オープニング・アイズ・プログラムに119万ドル、はしかイニシアチブの支援に30万ドルの四大交付金を承認
- ・ LCIFが実行する人道的活動プログラムに対し、外部企業、ノンライオンらパートナーとの拡大を図る

【国際理事会】

- ・ 東日本大震災被災地の332複合地区に所属する55クラブに対し、今期下半期の国際会費免除を承認
- ・ タム会長は「マイ・クラブ、マイ・ファミリー」への理解を図るため、クラブ会長2千人と面談を実施した。残り9カ月で4万人の会長と会う予定(オンラインを含む)
- ・ 公式プロトコルの23番目にGMT・GLTのメンバーを含める

年頭のご挨拶

ライオンズクラブ国際協会理事 山浦 晟暉



330-A地区のメンバー各位に於かれましては、輝かしい新春をお健やかに迎えに成られた事とお慶び申し上げます。

昨年は、東日本大震災、原発問題、異常猛暑を始め、政財界・外交・円高問題等、社会情勢は極めて激震に見舞われた不安定な一年でありましたが、今年の干支は竜、想像上の動物ですが中国では竜年は、強運を呼ぶ年と云われているそうです。今年こそ、社会も経済も安定し穏やかな平和な一年でありますように願っております。

早いもので、国際理事2年の任期も残すところ半年と成りました。この一年半、日本は勿論、東洋東南アジア代表として各国を訪問し、国際協会との架け橋と成りライオニズムの高揚に努めて参りました。今期は2年理事として東日本大震災復興支援本部の本部長を務める傍ら、今期大石ガバナー同様、国際理事のライフワークとして21世紀を生きる青少年の健全育成の為に「薬物乱用防止運動」を日本発、世界に向けて発信すべく理事会に於いて訴えて参りました。今後もこの事に最善を尽くす覚悟であります。

さて、今年は日本初の東京ライオンズクラブ生誕60周年であり、ウインクン・タム国際会長も来日予定であります。

タム国際会長のスローガンは「I believe 私は信ずる」、テーマは「my club my family」です。「クラブのメンバー全員が家族である。クラブ全員がお互いを慈しみ、思いやりをもち、苗木を植樹して優しく育てるように、メンバーに求めるならば退会者はなく会員増強につながり、クラブは活性化する。改革には痛みも伴うが、勇気をもって決断し、実行して下さい。必ず社会を、世界を変えられます。I believe私は信じます」と提唱されました。国際理事として会長に代わり、330-A地区大石ガバナー期の後半の成功を祈念申し上げます。

結びに、330-A地区内のクラブの例会のゴングの響きが、地区の平和の祈りと各クラブの発展・繁栄、そしてメンバー各位のご多幸への響きとして伝わる事を心より祈念し、年頭のご挨拶と致します。

- ・ GMT・GLTと地区ガバナー・チーム、リジョン及びゾーン・チェアパーソン・セミナー等、勉強会の強化
- ・ ライオンズクラブの発展を図るため、若手・女性等の会員増強セミナー、シンポジウム開催を強化
- ・ 世界の女性会員は現在30万人、全会員の23%。その増強に期待し女性の人口比率51%を目指す
- ・ 将来のライオンズクラブの発展のため、青少年の社会奉仕を学ぶレオクラブの強化を図る。レオ・ライオンズ・コーディネーター職を各地に作る
- ・ 植樹100万本目標が250万本達成(10月9日現在)。日本の植樹目標は35地区ガバナーの誓約である10万本。達成を期待する
- ・ オンラインでアクティビティ報告をしている国は現在45%。更なる推進を図る。植

樹活動の報告もオンラインを使用すること

- ・ 韓国に357複合地区が追加され複合地区が四つに
 - ・ タジキスタン共和国を207カ国目、ギニアビサウを208カ国目のライオンズ国として承認
 - ・ ライオンズ環境写真コンテストの理事会方針改定を承認
- なお、今理事会に提出した332複合地区申請の復興プロジェクトは、後日、ウインクン・タム国際会長とジド・スクラッグスLCIF理事長により条件付きで承認となりました。

以上、今回の理事会は数々の議題を討論し合い、大変ハードなスケジュールの中にも、将来のライオンズの発展の礎となる実りある充実した満足感を覚える8日間であり、次のサンフランシスコ理事会での再会を誓い合い閉会となりました。



第50回OSEALフォーラムが フィリピンのマニラにて開催される

大きな節目となる第50回東洋・東南アジア・ライオンズ (OSEAL) フォーラムが11月24～27日、フィリピン・マニラ首都圏のパサイ市で開かれた。フォーラム・テーマは「未来への黄金の奉仕」。第50回を黄金の価値ある年ととらえ、またライオンとしての黄金の心、黄金の人道主義奉仕、未来への黄金の夢を示唆している。



50th OSEAL FORUM



11月25日(金)

フォーラム最大のイベント、開会式が開催された。会場は平床の横長で、端の方からは中央の舞台は見えずらいが、舞台の背面に大きなスクリーンと、その左右に小型スクリーンが二つずつ設置されている。フォークダンスのショーや歌などをふんだんに盛り込み華やかな式典となった。夕方には並び合った三つの部屋で、それぞれの国際理事候補者を披露する韓国レセプション、台湾レセプション、そしてジャパン・レセプションがそれぞれ開催された。

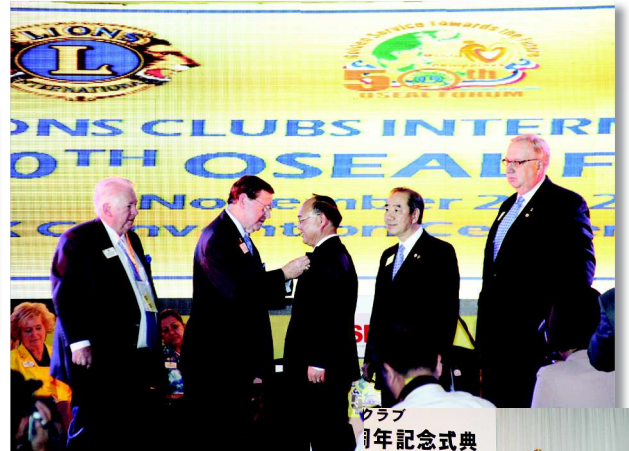
ジャパン・レセプションでは武久一郎2012～2014年度国際理事候補者が紹介され、ウィングン・タム国際会長を始め多くの国際役員がその活躍に期待を寄せエールを送った。武久候補者は、『『ウィ・サーブ』はライオンズクラブのモットーでありミッションであると考えている。東日本大震災をはじめ世界中で災害が頻発しており、ライオンズのウィ・サーブが必要とされている。当選を果たした暁には、国際理事として力を尽くしていきたい』と意気込みを語った。

11月26日(土)

フォーラム3日目のこの日は多くの会議やセミナーなどが企画されていた。

「国際第1副会長と第1副地区ガバナーの会議」ではウェイン・マデン国際第1副会長が、自らの出身地で開催されるインディ500を例に、ガバ

50th OSEAL FORUM



ナーとしての成功を納めるためには、レースと同様、チームワークと十分な準備が重要であると示し、自分たちの年となる2012年度にすべての力を発揮するために準備を進めようと述べた。

「国際第2副会長と第2副地区ガバナーの会議」ではバリー・パーマー国際第2副会長が第2副地区ガバナーに、キャビネット構成員と任期の目標について考え始めるようアドバイス。

「国際会長とクラブ会長の会議」にはOSEALフォーラムに参加しているクラブ会長が大勢集まり、部屋は熱気に満ちた。ウィンクン・タム国際会長が会長テーマや目標、取り組みなどについて語った他、クラブ会長に各クラブでの活動の紹介や意見等を求め、時間いっぱいまで熱心な発言が続いた。

この他、国際第1副会長とグループ・リーダーの懇談会、女性シンポジウム、LCIFセミナーとコーディネーターの会議や、時間を同じくして日本語、中国語、韓国語、英語のセミナーも各部屋で設けられた。また、来年福岡で開催される第51回OSEALフォーラム・レセプション、国際会長晩餐会も開催された。

11月27日(日)

最終日。第3回協議会議長と地区ガバナーの会議に続き、閉会式が開催された。今フォーラムに6500人を超える登録があったことが発表され、中でも日本からは2500人と、参加国の中で最多となった。

また、OSEAL地域からの2012～14年度国際理事候補者、L.チャン・ユイ・タイ(台湾)、L.タイヤン・キム(韓国)、そして日本のL武久一郎

(336複合地区)と、2012年度国際第2副会長候補者としてLジョー・プレストン(アメリカ)が紹介された。

式では国際執行役員らが次々に、パサイ・フォーラムの成功と、マイケル・ソー・フォーラム委員長を始めとする関係者一同の努力に対する感謝と労いの言葉を口にした。

次回第51回フォーラムは日本の福岡で、2012年11月8～11日に開催される。フォーラム委員会の不老安正委員長が、福岡フォーラムでの企画や街の魅力を紹介し、多くの方々の来福を期待していると告げた。

(ライオン誌日本語版事務所が発行するウェブマガジンより抜粋しました)

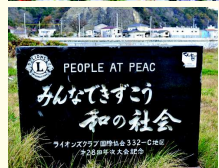


LCIF理事長セミナーが開催される

地区LCIF委員会

11月22日(火)ホテルニューオータニのメイン宴会場「鳳凰の間」に於いて「シド・スラッグスIII世LCIF理事長セミナー」が開催された。同セミナーは330複合地区をホストとして、330, 331, 332, 333, 334, 335, 336, 337の各複合地区合同のセミナーとなり、今回の東日本大震災の被災地を含む8複合地区、すなわち全国から380人のライオンズクラブメンバーが集まった。セミナーではまず、日本のライオンズによるLCIF交付金事業や、ライオンズクエスト・プログラム導入校の授業風景など、映像でLCIFの成果を確認。続いて行われた講演でスラッグス理事長は、「東日本の被災地を初め、世界中の助けを必要とする人々からの『ありがとう』の言葉を、皆さんに伝えにきました」と述べた後、LCIFに著しい貢献を果たした会員に対する表彰が行われた。

11月20日、シド・スラッグスIII世LCIF理事長はセミナーに先立ち、東日本大震災の被災地・宮城県石巻市を訪問した。石巻は今回の震災で、死者3279人、行方不明者669人(11月25日現在)と、最大の人的被害を出した。理事長は石巻市街地が見渡せる日和山で犠牲者を弔い



献花をした後、壊滅的な被害を受けた門脇地区の被災状況を視察。その後、児童108人のうち74人が死亡または行方不明となった大川小学校を訪れ献花を行い、ジュディ夫人と共に子どもたちの冥福を祈った。(ライオン誌日本語版ウェブマガジンより)



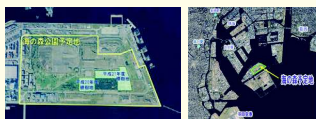
被災地訪問を終えたスラッグス理事長は、「自然の力というのは本当に恐ろしいものです。しかし、そうした自然災害よりも強い力があります。それは私たち一人ひとりの意志の力です。そしてそれらが一つにまとまることによって、私たちは災害を乗り越えていくことが出来るのです。国際協会としても一致団結して、日本の復興を支援していきたいと思います」と語った。(ライオン誌日本語版ウェブマガジンより)



「海の森計画」に協力

地区環境保全委員会

11月12日(土)地区環境保全委員会では東京都が実施している「海の森」計画に協力する形で江東区青海三丁目地先中央防波堤内側に集まり、同地に予定されている「海の森公園」地域にスダジイ、タブノキ、エノキ、などの苗木約3,000本の植樹を手伝った。この事業により、「未来の東京湾地区の環境整備と「東京都心へ向かう風」が流れる環境に寄与する」という大きなプロジェクトで、今期の国際会長方針に従い330-A地区の活動として行われたもので、この日は地区内の有志メンバー約180名が参加した。



ゾーンチェアパーソンセミナーを開催

地区指導力・若手育成委員会

11月11日(金)京王プラザホテルに於いて地区指導力・若手育成委員会主催の「ゾーンチェアパーソンセミナー」が開催された。セミナーの内容はゾーンチェアパーソン経験者の体験談、第一副地区ガバナーの自らの経験に基づく感想とリーダーシップの考え方、そして政策計画委員長からはゾーンチェアパーソンマニュアル並びにライオンズ必携の使い方などが説明され、参加者らは熱心に聞き入っていた。この日はゾーンチェアパーソン28名、キャビネット役員24名、委員会メンバー14名総勢66名が参加した。



被災地の子供らにクリスマスプレゼント

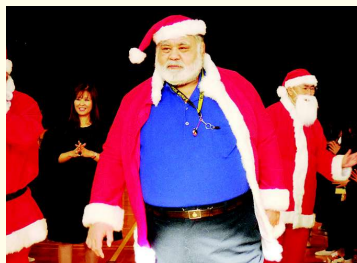
地区家族会員・女性参画推進委員会(小川晶子委員長)



12月19日(月) 都内6か所(丸の内・新宿・渋谷・八王子・東急スクエア・アリオ亀有・汐留)のABCクッキングスタジオにおいて「幸せを呼ぶホワイトボールクッキー」造りを15:00～17:00の時間に一斉に開催、汐留会場では阿久津第一副地区ガバナーをはじめ5名の男性会員も奮闘。渋谷パルコでも大石ガバナー夫人や地区内の女性メンバーらが参加した。参加人数



合計192名、1300人分のクリスマスプレゼント用クッキーを製作。そして翌20日(火)にはL村木秀之緊急対策委員長ならびに家族会員・女性参画推進委員会の副委員長L渡辺大五郎、L天間勝治委員らが被災地・宮城県に出向き、地元の仙台白百合学園小学校へ350個、名



取市立増田小学校へ840個、美田園第一応急仮設住宅自治会へ167個のクッキーを、スナック菓子2200個、アイスキャンディ3700本、マスク12万枚とともに届けた。、サンタクロースに扮したメンバーらの姿に子供たちは大歓声を上げ、あちらこちらで“びよこ、びよこ”と飛びはねて大喜び、まさに“飛び上がって喜ぶ”子供たちの姿に小川委員長、村木委員長らメンバーも感激!関係者らも心温まるクリスマスプレゼントに感謝していた。



百寿を祝う会主催チャリティーゴルフ大会



“元地区ガバナー渡辺豊隆翁百寿を祝う会”が主催する被災地復興支援チャリティーゴルフ大会が12月8日(火)千葉カントリークラブ野田コースで行われた。復興支援に共鳴し、渡辺元ガバナーの百寿にあやかりたいという地区内メン

バー等約120名が参加。パーティー会場では数多くの景品が並べられ、まもなく百歳になる渡辺元ガバナーがハイセンスな服装で年齢を感じさせない元気な姿で登場し、しっかりした口調で参加者にお礼の挨拶を述べ、会場からは感嘆する声とともに盛んに祝福を受けた。チャリティで集まった支援金は12月5日キャビネット事務局にて、渡辺元ガバナーから大石ガバナーに直接贈呈された。なお、3月30日(金)渡辺豊隆翁百寿を祝う会が帝国ホテルで開催される。



骨髄移植推進セミナーを開催

地区献血・骨髄移植推進委員会

11月7日(月)キャビネット事務局近くのコンベンションルームAP西新宿4階に於いて2011-2012年度ライオンズクラブ国際協会330-A地区「骨髄移植推進セミナー」が開催された。セ



ミナーでは骨髄移植経験者、骨髄提供経験者の体験談発表のほか、財団法人骨髄移植推進財団の広報渉外課長らによる解説並びに

質疑応答があり、参加した地区内のメンバーらも熱心に質問していた。



ジュニア空手道大会を主催

11月13日

東京法政LC



11月13日(日)東京法政ライオンズクラブは町田市相模原の法政大学体育館に於いて、都内の空手道団体10組、約200名の選手らが参加する「第1回東京法政ライオンズクラブ杯ジュニア空手道大会」を開催した。同クラブは2005年の結成以来「母校法政大学への貢献」を基本に、社会奉仕活動を行ってきたが、このたび、「少子高齢化による社会の活力の低下が心配される昨今、青少年の健全育成が今こそ重要」との認識の下、「グローバル化が加速する中、母国を正しく理解し、誇りを持つ真の国際人育成には日本古来の武道の振興が有益」との考えから、NPO法人沖縄空手道剛柔流東魁塾との共催および法政大学校友会連合会の後援でこの大会が実施された。会場には大石ガバナーほか大勢の地区内メンバーらが駆けつけ少年少女らの熱戦を観戦した。



ミャンマーの青少年育成医療支援 11月2日

東京GAIA LC

東京GAIAライオンズクラブは昨年より、ミャンマーで治療を受けたくても費用が払えず病院に行くことができない15歳未満の青少年たちを支援している。今年度も11月2日会長以下数名のメンバーが現地を訪れ、昨年よりも対象の地域や学校を広げ300人以上の子供たちに同クラブが全額費用を負担して無料で診察、治療、投薬が実施された。現地のシェーパラム総合病院の要請で、衛生事情などから流行しているトラホーム治療や予防の支援要請を受けている。



カシオ本社内で献血の呼びかけ 11月29日

東京馬場先門LC

馬場先門ライオンズクラブは「献血・骨髄ドナー登録」を重要なアクティビティとし、ほぼ毎月のように活動を行っている。呼びかけの場所は日本橋、数寄屋橋公園、中央警察署、国際ビルディング横など様々な場所で実施



しているが、渋谷区本町のカシオ計算機本社内でも年に2回ほど実施している。11月29日(火)に実施された活動では、日本赤十字社から、医師や看護師などの派遣を受け、大々的に実施された。同社では総務部などが積極的に社員らに呼びかけ、毎回100名から200名の献血が得られるという。さらに骨髄ドナー登録も毎回15名から20名の登録者があり、同クラブでは大手企業の協力を得たこうした活動を今後も継続したいとしている。



第7回剣道ライオンズ少年剣道大会を開催

11月27日

東京剣道LC

11月27日(日)東京剣道ライオンズクラブが主催する「第7回剣道ライオンズ少年剣道大会」が中野区立中野体育館で行われた。同クラブでは日本古来の伝統文化である「剣道を通じて心身ともに健全な青少年の育成と親睦を願って」開催しているもので、今年で7回目を迎え、今回は746名の少年少女剣士が参加した。大会は主として45名の同クラブ会員らが運営し、多くの大会役員や顧問、関係者らが支援している。ライオンズクラブでも東京しいの木LCや東京赤坂LCが後援しており、今大会も大勢の地区内の役員やメンバーらが観戦した。同クラブ会長は子供らに「剣道指導の心構え」「剣道修練の心構え」を通じて「剣道理法の修練による人間形成の道」という剣道の本質を呼びかけている。



お祭り会場で献血活動

11月6日

東京国分寺LC



国分寺ライオンズクラブ(メンバー数19名)は11月6日(日)都立武蔵国分寺公園にて開催された市内最大のイベント「国分寺まつり」で献血奉仕活動を行った。長年の献血奉仕活動だが、昨年から休日のお祭り開催日に実施し、同時に骨髄バンクドナー登録会も実施した。作りたてのポップコーンを無料で配ったり、献血者にはお花をプレゼントした。この日の献血者は45名、骨髄ドナー登録者は5名あった。



青少年健全育成を願って芋ほり、芋煮会を主催 11月3日

東京石泉LC



11月3日(祝)東京石泉ライオンズクラブは秋空の下、練馬区東大泉の農園で春から準備を続けていた芋ほり、芋煮会を行った。招待したのは春、秋に同クラブが協賛している学童少年野球大会に参加しているチームや近隣の住民、会員の家族、そして障がい者グループひまわりの青少年ら総勢約150名がサツマイモやサトイモ掘りに参加して汗を流した。早速、取れたての芋を煮てみんなで舌鼓を楽しみ満足した。来年は開墾から植え付けなども行い、本格的な石泉ファームを目指すという。



チャーターナイト45周年記念式典 12月6日

東京数寄屋橋LC



12月6日(火)千代田区の東京會館に於いて、東京数寄屋橋ライオンズクラブの“チャーターナイト45周年記念例会・式典”が行われた。式典には港区長ら多くの来賓やメンバーの家族、例会振替クラブ、友好クラブのメン

バー他キャビネット役員らおよそ250名が参加した。式典では、映像により45年の歩みが紹介され、記念のアクティビティも紹介されたほか、この日2名の新会員の入会式が行われた。また、第二部ではシークレットライブショーとして赤い鳥、Hi-Fi Set(ハイファイセット)の女性ボーカル山本潤子さんのミニコンサートがあり、懐かしい“卒業写真”“スカイレストラン”などが披露されたほか震災復興にちなんで“翼をください”を参加者全員で歌い、大盛会となった。



東京昭島ライオンズクラブが40周年記念家族会 11月19日

東京昭島LC

東京昭島ライオンズクラブは11月19日(土)フォレスト・イン昭和館にて“結成40周年記念例会・家族会”を行った。北側昭島市長のほか森山勇330-A元地区ガバナーら昭島市内の諸団体やライオンズクラブ330-A地区13リジョン1ゾーンのライオンズ関係者ら約70名が集まり同クラブの40周年を祝った。同クラブは記念例会に先立ち、姉妹提携クラブの332-B地区岩手県の前沢ライオンズクラブを通じて東日本大震災の被災地に義援金を送っている。



東京深川ライオンズクラブが45周年 12月3日

東京深川LC



12月3日(土)東京深川ライオンズクラブは「チャーターナイト45周年記念式典」を港区の“ザ・キャピトルホテル東急”にて行った。式典には山崎江東区長ら多くの来賓と、ライオンズクラブからも大石ガバナー、山浦国際理事ら地区内の多くの役員らが駆けつけたほか、遠くは北海

道から同じ名称を持つ深川ライオンズクラブから331元地区ガバナー定岡L夫妻や増永クラブ会長ら17名、サッポロシニアLCからも7名のメンバーがお祝いに駆け付けた。記念アクティビティとして江東区立明治小学校や深川消防少年団、江東区立深川学童少年軟式野球連盟などに金一封が贈られた。



クラブ発足以来のアクティビティで地域に貢献 11月16日

東京中央南LC



平成23年11月16日7R1Z東京中央南ライオンズクラブは北区役所環境課とタイアップして、クラブ発足以来続けている継続アクティビティとして“タバコのポイ捨て禁止啓蒙活動とごみの無い街”

と題した活動をJR東十条駅周辺にて活動を行っている。地域の人々にも活動を理解してもらうため駅構内でのティッシュ配りや、駅周辺のごみ拾いなどを実施した。同クラブの山口幹事は、「北区は、元来あまりごみが落ちている所が少ない。周辺の方々がこの様にコミュニティを作って協力してくれている。また区民の意識も高い。ただ相変わらず歩きながらたばこ吸っている人はいる。所定の喫煙所で吸って頂けるようこれからも活動、啓蒙を続けていきたい」と語っていた。

三区親善少年野球大会を後援 10月30日

東京飯田橋LC



東京飯田橋ライオンズクラブらが後援する「第28回3区親善少年野球大会」が10月30日(日)から11月13日(日)まで2週間にわたり、秋の六義園運動場で開催された。飯田橋は千代田区、文京区、新宿区の結節点に位置し、立地上3区

の子供たちが区を乗り越えて仲良く交流することを願って応援している。同クラブでは30回の記念大会を目指しているとのこと。

区内の小中学生を対象に善行賞を授与

東京北LC

東京北ライオンズクラブは長年にわたり、区内の小中学校生徒を対象に、学校や地元消防団などの推薦を受けて、善行のあった子供に対し「善行賞」を贈呈している。推薦された子供には賞状のほか同クラブからはメダルと図書券が贈られる。毎年10人ほどが表彰されるが、年々善行者が増えて地域の青少年育成に貢献しているという。



まげねど・がんばっぺ東北! イベントを後援 11月6日

東京飯田橋LC



東京飯田橋ライオンズクラブは、11月6日(日)新宿区立大久保公園にて開催された「まげねど・がんばっぺ東北!」[第4回歌舞伎町農山村ふれあい市場]を後援した。会場となった区立大久保公園には、気仙沼のお酒など気仙沼復興商店街や、岩手県大槌町を支援する市民の会のほか一関市金沢、陸前高田、福島県いわき市のコーナーなどがあり、毎年出展している農山村川内村、長野県伊那農業青年研究会、岐阜県下呂市中津川観光協会、など実に多彩な出店者が集い大変な賑わいを見せた。新宿区長らも応援に駆け付けた。



山形羽陽ライオンズクラブと合同アクティビティ 10月22日

東京ウエストLC



東京ウエスライオンズクラブ(330-A地区9R2Z)では姉妹クラブ提携先の山形羽陽ライオンズクラブ(332-E地区1R2Z)と合同で2011年10月22日(土)11時30分より山形駅前にて合同アクティビティ薬物乱用防



止活動を行い、用意したボールペンとチラシ1,000枚を配った。330-A地区からは阿久津隆文第一副地区ガバナー、332-E地区からは野川亘ガバナーらが出席し活動を励ました。終了後は場所を馬見ヶ崎河川敷に移し、合同例会(いも煮会)を行った。

巣鴨の街を伝えて17年「すがも百選」が終刊

東京巣鴨LCメンバー宇埜正純ら



巣鴨ライオンズクラブのメンバーらが発起人となり続けてきた、巣鴨の街の情報誌「巣鴨百選」がこのたび終刊となり、街では終刊を惜しむ声広がっている。「巣鴨百選」は巣鴨ライオンズクラブのメンバーで、同誌の編集室として長年編集を担当してきた宇埜正純ら巣鴨LCのメンバーらが巣鴨の商店街に呼びかけ、「巣鴨」という街の歴史や文化、そして街のイベントや暮らしている人々の情報を伝えてきた。平成6年12月の創刊以来、実に通巻205巻17年間にわたり毎月、一度も休むことなく発行してきた。12月中旬、「すがも百選」の表紙を飾ってきた205枚の「季節の花の切り絵」が巣鴨地蔵のある高岩寺のギャラリーで紹介された。街を活気づけ、今日の発展に貢献した。



第17回品川区少年マラソン大会を開催

12月23日

第9リジョン 品川LC・五反田LC・大井LC・荏原LC

12月23日(祝)、9:30~13:00 品川区大井埠頭中央海浜公園にある「スポーツの森・陸上競技場」において、東京品川ライオンズクラブ、東京五反田ライオンズクラブ、東京大井ライオンズクラブ、東京荏原ライオンズクラブが主催する「第17回品川区マラソン大会」が開催された。本大会は品川区の後援を得て、品川区少年野球連盟が大会運営を担当し、地区のライオンズクラブ第9リジョン各クラブが協力した。出場参加資格者は品川区在住、在学の小中学生約1,300名が参加した。この冬一番の冷たい風の中、学年ごとのレースで元気に健脚を競った参加者らは、寒気にもめげず「大勢のライバルと競えるのが楽しい」と元気いっぱいの様子。



被災者の心と体を癒し早期復興を願う 10月19日

東京綾瀬LC



2011年10月19日(水)、東京綾瀬ライオンズクラブのメンバーが、岩手県上閉伊郡大槌町を訪問し、被災者の心と体の癒しと復興を願い、みちのく兄弟(大槌町出身)・いろは座による「歌と津軽三味線、大笑い・舞踏ショー」を開催した。同クラブ会長は、今期のアクティビティのキャッチフレーズとして「東北にたくさん笑顔」とし、かねてより親交のあった「みちのく兄弟」の前川氏に協力をお願いし、実現したものである。会場となった大槌町の城山公園体育館には、天気にも恵まれ碓川豊町長をはじめ500人を超える人たちが集まり、会場はたくさん笑顔と笑い声で包まれた。ショーは3時間という短い時間ではあったが、被災者らは大いにショーを楽しんだ。地元の大槌町LC大萱生会長に復興支援金を贈呈し、同クラブは今後も引き続き支援をしていくことを約束した。



姉妹クラブと合同で「福島物産展」を開催 12月9日

東京荒川西LC

2011年12月9日 7R1Z東京荒川西ライオンズクラブは、東日本大震災被災者救援募金活動と合せ、姉妹クラブである福島松川ライオンズクラブと合同で福島物産展を、荒川区役所前の公園にて行った。前日の夜中に2ト



ラックで現地入りした福島松川ライオンズクラブのメンバーが、風評被害にあっている福島県内の農家から集められた新鮮な野菜や果物等が並べられ、売り上げは全て農家や被災された方々に贈られる。このアクティビティは、今年の8月から数回にわたり実施され、この日も沢山の地元のの方々が買いに訪れ、大変な賑わいを見せた。



新年早々から献血を呼びかける恒例の活動

10月27日

6R1Z合同、3R3Z合同

東京浅草LC、東京蔵前LC、東京秋葉原LC、東京お茶の水LC、東京鳥越LC、東京飛翔LCが所属する6R1Zは合同で毎年恒例となっている“新年の献血呼びかけ活動”を明けた2012年1月2日から2日間にわたり浅草の浅草寺雷門前の休日遊歩道にて行った。結果2日間で194名(受付255名)の方から献血を受けた。メンバーらは毎年寒さに負けず、プレート掲げ、新年のお参りをする人たちに声をかけて献血活動を行っている。東京浅草LCはクラブ誌などの情報をたどると、すでに30年ほど前からこうした献血活動が行われている。一方、東京麹町LC、東京赤坂LC、東京青山LC、東京六本木LC、東京神宮LC、東京ヒルズなどが所属する3R3Zでも、毎年恒例の献血活動を明治神宮原宿口大鳥居前、原宿駅周辺にて行っている。今年も1月9日(祝)成人式を迎えた若者たちが行きかう原宿にて呼びかけを行った。結果68名(受付80名)の方から献血を受けた。両地区とも参加メンバーは寒中、大変ご苦労様でした。



復興の力に…一関に桜の木

11月24日

東京ウィルLC



女性メンバーだけで活動が続ける東京ウィルライオンズクラブは、11月24日(木)9人のメンバーが、岩手県一関市狐禅寺の一関市遊水地記

念緑地公園に出向き、桜の苗木25本を植えた。同クラブは2008年の岩手・宮城内陸地震の際も一関LCを通じて義援金を寄せており、クラブの設立10周年の記念事業に盛り込んだ桜の木寄贈を震災復興支援に位置づけ、今回の活動を実施した。窪村幸子会長らは「桜の花で被災者の心を少しでも癒せることを願っている。復興と桜の樹の成長を見守っていきたい」と話していた。この活動は地元の岩手日日新聞にも取り上げられた。



“三陸鉄道沿線に桜の木を植えよう”という運動が始まる 12月20日

地区内有志メンバー



地区内有志メンバーらが集まり、東日本大震災で被災した三陸鉄道地域の復興、復興を願い、沿線や鉄道各駅構内などに桜植樹を行い、津波災害を語り継ぐシンボルとして観光資源、写真スポットとして地域活性の一助となるよう、地域と協力して推進しようというプロジェクトが始まった。プロジェクトは330-A地区内の有志メンバーが発起人となり、332-B地区の宮古岩手LC、田老LC、陸中宮古LC、ほかの協力者や、三陸鉄道、宮古市役所、観光協会、商工会議所、漁業組合が協賛している。12月20日(火)発足の旗印ともなる日本一大きな熊手を、西の市で知られる浅草長國寺山門から移動し、宮古駅前のビル入り口に設置した。この様子は岩手放送や岩手日報ほか朝日、読売、毎日など各新聞の地方版でも紹介された。



明日では遅すぎる。今こそメンバーの増強を!

「3年間で地区メンバー数1万人を目標!」に挑



今期は1500名の会員増強を

「ライオンズクラブの最大のアクティビティは会員増強による奉仕人口の拡大にある」と言われています。たしかにクラブメンバー数が増えれば、アクティビティの規模も大きくなり、クラブ活力もますます盛んになります。

しかしながら過去7年間の地区メンバー数を見てみると2006年6月末の5,495人から毎年減少が続いています(図1 期末在籍者数の推移等を参照ください)。これが各クラブの活力の低下をもたらしていると残念ながら言えるのではないのでしょうか。

もし2008-2009年の石井ガバナー期に会員増強大キャンペーンを展開していなかったら現在の地区メンバー数は4,500人台になっていたかもしれません。

こうしたことから今期、大石誠地区ガバナーは地区重点施策の一つの柱として会員増強に強力に取り組むことを表明し、また国際協会でも「地区3ヵ年会員増強計画」の策定を推奨し、それをサポートするためにグローバル会員増強チーム(GMT)リーダーを任命しています(330-A地区は日下勲L)。

これを受けて今期の「会員増強委員会」(L橋口啓一委員長以下28名)では、会員増強戦略として、一人のメンバーが3年間のうちに一人の新会員を入会させ、地区メンバー数を3年間で1万人にする「ワン・ツー・バイ 戦略」を7月に打ち出し、その戦略を達成する戦術として「会員増強例会」の提案、8月には「会員増強計画シート(クラブ用)」「会員増強推進表(RC用、ZC用)」などの会員増強ツールを開発・配布するとともに、11月には会員増強マニュアルとしての小冊子『今すぐできる会員増強』の作成・配布をいたしました。

これらを利用し、各クラブの3分の1のメンバーがそれぞれひとりの新会員を入会させれば、今期少なくとも1,500名の会員増強となり、退会者が400人あるとしても1,100名の純増が期待できます。

会員増強のエキスパートを養成

3年間で地区メンバー数を1万人にするためには、継続的な会員増強が必要であり、そのためには早急に中核となる会員増強のエキスパートを養成しなければなりません。

このため会員増強委員会では、L岩城正明副委員長とL鈴木廣



戦する「会員増強委員会」(会員増強委員会委員長 L橋口啓一)

行副委員長が中心となり、「会員増強ワークショップセミナー」を企画しています。これは会員増強を課題テーマとし、少人数制のグループにより会員増を図るためのプロセスを深く掘り下げて議論することで、会員増強のエキスパートの育成・定着を目指すものです。参加されたメンバーは、自クラブにおいても会員増強に向けて大いにリーダーシップを発揮され、クラブとしての増強活動に役立てられる有意義なセミナーとなるはずです。

開催日時は、2012年2月13日(月)午後1時30分からで、会場は「スクワール麹町」(千代田区麹町6丁目6)、参加費は6,000円(懇親会費含む。クラブでご負担ください)となっています。申込締め切り期日は2012年1月27日(金)。
少人数に悩んでいるクラブには特にお薦めのセミナーです。



「楽しくなければ会員増強じゃない!」を具体化する「会員増強の夕」を企画

会員増強は、真に友と呼べる人と出会うチャンスを増やすことであり、ともに汗して、感動の涙を流す仲間を増やすことです。だからこそ会員増強は楽しくやるべきです。

そこでこれを具体化するために会員増強委員会では、L毛利義則副委員長、L穴吹義一委員、L石川知恵子委員が、会員増強をしたクラブ、個人、新会員、家族会員を中心に、横浜港大さん橋国際客船ターミナル発の「ロイヤルウィング」(2,876トン)で中華バイキングを楽しむ貸し切りディナークルーズ(17:00~19:00)「会員増強の夕べ」を企画いたしました。期日は2012年5月11日(金)、参加費は大人10,000円、子供(小学生)4,000円で、詳細は、後日パンフレットによりご案内いたしますので、ぜひ多数ご参加ください。



会員増強は「できる、できない」の議論ではなく、目標となる数字をもって「やる」という実行力が何よりも必要と思います。

会員増強委員会へのご理解と支援をどうぞよろしくお願いいたします。さらに会員増強についてお困りなこと、ご質問等がありましたらどうぞなんなりとご一報ください。

図1 期末在籍者数の推移

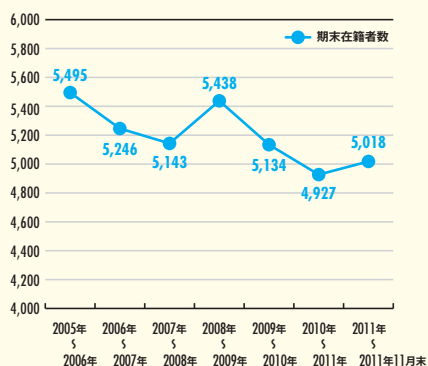


図2 入退会の推移

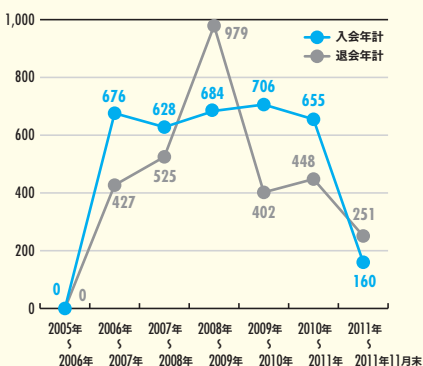
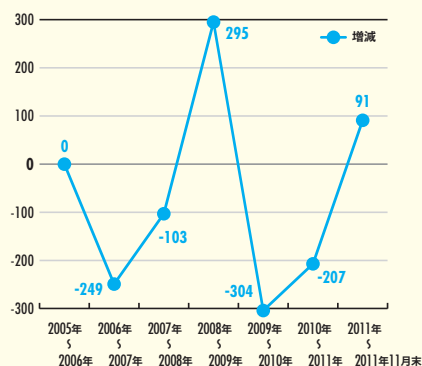


図3 前期対比増減の推移



2012 主要行事日程表

キャビネット会議

- 臨時 2012年1月23日(月) 東京プリンスホテル ・会議・賀詞交歓会 ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員
- 第3回 2012年3月21日(水) 東京プリンスホテル ・会議 ※キャビネット構成員
- 第4回 2012年6月11日(月) 東京プリンスホテル ・会議・懇親会 ※元ガバナー・キャビネット構成員・委員会副委員長・委員・複合地区役員

国際大会

- 第95回国際大会 2012年6月22日～26日 韓国・釜山市

年次大会

- 330-A地区(第58回) 2012年4月21日(土) 東京プリンスホテル
- 330複合地区(第57回)2012年5月13日(日) 浦和ロイヤルパインズホテル

懸賞コーナー クロスキイズとアンケートに答えてワインがもらえる

十字の中央のA、B、C、Dには、周りの漢字それぞれと二字熟語ができる漢字一文字が入ります。最後に、中央に入る4つの漢字(A、B、C、D)で出来る4文字の熟語を答えて下さい。(熟語は上から下、左から右とします。)

【例】

再	実	金
代		

→

再	実	金
代		

この賞品が
あたる!



【答え】

A B C D

(ヒント)本誌の記事中(P.10～P.11)に出ています。

応募方法

正解者の中から抽選で10名の方にワインを差し上げます。抽選の発表は次号です。

【締め切り】2月25日(当日消印有効、メール、FAXは送信日付当日まで)

【応募資格】地区内メンバーでサバンナeMMR登録者一人一通に限りです。

【あて先】〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-10-17

新宿ダイカンプラザB館2F 地区ニュース懸賞係

【メール】pr@playtown.net 【FAX】03-5330-3370

◆メールまたはFAXに解答および地区ニュースに対しての読者アンケートにお答えください。郵便番号・住所・氏名・電話番号・RZ・所属クラブ・年齢もお忘れなくお願いします。

*ワインはオーストラリア産スパークリングワインを地区内メンバーからのドネーションによりPR情報委員会で用意しました。

ドネーション者氏名：L渡辺豊(前キャビネット副会計)、L吉田實(組織連携・ライオンズカード委員会委員長)、L佐藤武雄(PR・情報委員会委員)

【第2号の答え】会員増強

【第2号の当選者】橋口啓一(葵LC)、吉田哲也(新宿LC)、長弘一(練馬LC)、芳須保行(小金井LC)、庄子守(ウエストLC)、鴨下悦昌(小金井LC)ほか特別応募者キャビネット事務局員、以上おめでとうございます。賞品は発送しました。

アンケート

◆クイズといっしょにアンケートにもご協力ください

■今号の地区ニュースNew Year号はいかがでしたか?

- Q1. 面白かった記事は? その理由は?
- Q2. つまらなかった記事は? その理由は?
- Q3. 今後載せて欲しい記事は? その理由は?
- Q4. その他ご意見などお書きください。

つぶやき

◆龍は経験で成長していくのです◆

表紙のイラストも辰にちなんで、単純発想で龍にしたんだけど、この単純なところがいいでしょ!実は、来日したブータン国王の国が「龍の国」なんですね。だから国旗も龍なんですけど今年が辰年。なにか国王の来日も偶然ではない気がします。そんな国王が龍の話を福島でされたんです。龍が経験を食べて大きくなる話ですが、「経験を糧にして大きくなってください」ということだと思います。

今期ガバナーも龍にのって「WeServe」の玉を振って龍に奉仕をたくさんしてもらおうとしているんです。

ライオンズクラブも龍のように奉仕の経験をたくさん積んで、もっともっと大きく成長しようという思いのイラストでした。

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
地区ニュース 第3号(New Year号)

The
Lions
News

発行日 2012年1月25日
発行 PR・情報委員会

PR・情報委員会

委員長 梶原 正和(小金井)
編集長 宇埜 正純(巣鴨)

編集委員 高尾 省吾(葵)
奥山 貞夫(葛飾)
和崎 健治(練馬)
矢追 秀紀(ウエスト)
柴田 誠(新都心)

編集委員 新田 尚志(麻布)
後藤 裕文(法政)
小森 康一(綾瀬)
山口 聖之(中央南)
桂 太郎(世田谷)
鈴木 郁朗(新宿)
佐藤 武雄(新都心)
戸矢崎 哲(中野)

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区キャビネット事務局
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-10-17
新宿ダイカンプラザB館2F
TEL(03)5330-3330
FAX(03)5330-3370
E-mail cab@lions330-a.org